

製品名: TP53INP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19143**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 17kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TP53INP2 |
| 別名 | TP53INP2; C20orf110; DOR; PINH; Tumor protein p53-inducible nuclear protein 2; Diabetes and obesity-regulated gene; p53-inducible protein U; PIG-U |
| 遺伝子 ID | 58476.0 |
| SwissProt ID | Q8IXH6 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト TP53INP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50 |

背景

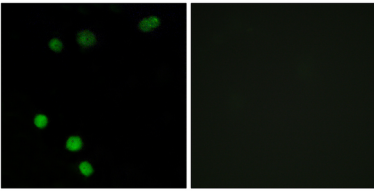
腫瘍タンパク質 p53 誘導性核タンパク質 2 (TP53INP2) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質はオートファ

ジーンを促進し、適切なオートファゴソームの形成と処理に必須である。さらに、コードされるタンパク質は、POLR1/RNAポリメラーゼI開始前複合体の形成を助けることでrDNA転写を促進する。さらに、このタンパク質はいくつかの遺伝子の転写活性化因子として機能する。[RefSeq提供、2016年7月]

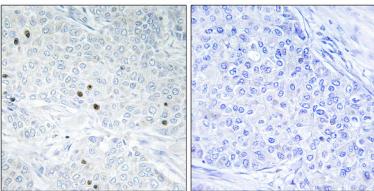
研究分野

細胞生物学

画像データ



TP53INP2抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



TP53INP2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。